

令和2年6月3日

報道関係者 各位

「肥前島原子ども狂言」が「第35回長崎県地域文化章」受章決定！

標記の件について、下記のとおり受章が決定しましたので、お知らせします。

記

1. 受章が決定した団体 ひぜんしまばら こ きょうげん
肥前島原子ども狂言

2. 授与式

6月12日（金）15：00～15：30 県庁秘書課応接室

3. 受賞者概要

別紙、長崎県報道機関発表資料をご参照ください

4. 令和2年度の活動について

4月に参加者募集を行い、30名（新規参加5名を含む）の申込があった。
5月の開講式は延期したが、6月に規模を縮小して開講式が行えないか検討中。
新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から様々な対策を講じつつ、例年とは違う形での活動を予定。

5. 過去の本市の受章者

第5回（H1） 榊原 武之（個人）

第5回（H1） 島原城薪能振興会（団体）

第21回（H17） 有明町島原木綿織保存会（団体）

第28回（H24） みんなでスクイを造ろう会（団体）

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市教育委員会社会教育課 社会教育文化班

担当 林田

電話：0957-68-5473

E-mail：shakyo@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

肥前島原子ども狂言（ひぜんしまばらこどもきょうげん）

藩政時代より能楽が盛んであった島原で、島原ならではのワークショップとして、平成16年から子ども狂言ワークショップがスタート。

島原半島三市から参加者があり、平成31年度は4歳から高校生まで40人の子どもたちが参加した。これまでの最年少は3歳。

ワークショップの講師には、和泉流狂言師の野村万禄氏を招聘し、最高水準の指導が行われているほか、長崎県指定文化財「肥前島原松平文庫」に残る江戸時代の謡本の見学や、島原市内にある本物の能舞台の見学などを取り入れたワークショップになっている。

毎年10月の島原城薪能のほか、島原市民音楽祭邦楽の部、島原子ども狂言おさらい会などへの舞台出演を行っているほか、過去には火山都市国際会議、ジオパーク国際ユネスコ会議に、英訳の解説付きで、お祝いの島原狂言「釣ろうよ」を発表した。

子どもたちが伝統文化を継承し保存する取り組みが継続されていること、島原狂言「釣ろうよ」を掘り起して発表した独創性、国際交流の展開などが評価され、平成28年には島原半島文化賞を受賞している。



肥前島原子ども狂言 小舞 島原城薪能

参加者募集

肥前

島原子ども狂言

狂言ワークショップ

5月20日(水)

募集：未就学児、小中学生

約30人

[舞台発表]
島原城薪能
2020年10月10日



島原城薪能の舞台に 立ってみませんか!

狂言師・野村万禄先生に、5月から月に1回指導していただき、10月の島原城薪能の舞台で発表します。「島原子ども狂言」をやってみたいという子ども達を募集しています。全国でもめずらしく注目されている、島原ならではのワークショップです。みなさんぜひ参加してみませんか?

島原城薪能と島原子ども狂言 ～古典芸能が息づく歴史の町に～

島原ではずっと昔から能(のう)と狂言(きょうげん)が行われていました。それを昭和58年に復活し、毎年秋に島原城薪能(たぎきのう)として公演しています。

島原子ども狂言ワークショップは平成16年から始まり、今年で17年目となります。

毎年、みんなで楽しくお稽古をしながら、秋の島原城薪能の檜舞台でその成果を発表しています。平成18年には島原オリジナルの島原狂言「釣ろうよ」も誕生し、みなさんに親しんでいただいております。

島原城薪能の舞台の他にも「火山都市国際会議島原大会」や「第5回ジオパーク国際ユネスコ会議島原大会」など、海外のお客様を前にした大きな舞台でも発表してきました。

<お問合せ・申込み>

島原市教育委員会社会教育課
☎ 68-5473

講師：野村 万禄 さん
(萬狂言・九州代表/(公社)能楽協会九州支部副支部長)

古田 知英 さん
(幸流小鼓万職分)

松尾 卓次 さん
(島原城専門員)

主催：島原市、島原市教育委員会

「島原子ども狂言」参加申込書

※申込締切は4月24日(金)です

こちらからも
お申し込みできます

学校 年 組 /

幼稚園・保育園(年少・年中・年長)

(ふりがな)

名前

(ふりがな)

保護者名

住所

電話番号



※参加希望の方は、この参加申込書にご記入のうえ、各学校または島原市教育委員会社会教育課(☎68-5473)まで提出してください。

狂言は能と共に日本の伝統演劇です。600年も前から、人々の生活を楽しく表している舞台です。「太郎冠者(たろうかじや)あるか」「みどもたちはガンバでござりまする」などの言葉聞いたことがありませんか。これは狂言で使われるセリフの一部です。なんだかおもしろそうです。みなさんも実際に狂言の世界を体験してみませんか。

ワークショップの特色は舞台で育つ豊かな感性があります。

- ◎正しい腹式呼吸の発声を身につけることができます。
- ◎歩き方、座り方。おじぎの仕方など、行儀作法を自然に身につけることができます。
- ◎これまでも未就学児の子ども達も多数参加しています。
- ◎みんなで心を合わせて、舞台発表を目標にがんばることで、みんなで協力する大切さと舞台に立つ喜びと達成感を学びます。
- ◎島原と島原城新能の歴史を勉強する講座もあり松尾卓次先生によるわかりやすいお話を聞きながら松平文庫に伝わる本物の古文書にふれる体験ができます。

参加者募集

島原子ども狂言

狂言ワークショップ要項

- ◎募集人数 小中学生約30人
(未就学児も参加できます。ご相談ください)
保護者の方も、お稽古の見学や講座など参加していただけます。
- ◎募集期間 令和2年4月3日(金)～4月24日(金)まで
- ◎募集受付 参加希望の方は、掲載QRコードを読み取り、スマートフォンなどからお申し込みいただくか、このチラシ表面の参加申込書に必要事項を記入のうえ、各学校又は島原市教育委員会 社会教育課まで提出してください。
- ◎お問合せ 社会教育課(TEL.68-5473)まで
- ◎講師 野村 万禄さん
(萬狂言・九州代表/(公社)能楽協会九州支部副支部長)
古田 知英さん(幸流小鼓方職分)
松尾 卓次さん(島原城専門員)

[主催] 島原市・島原市教育委員会
[協力] 島原城新能振興会・島原子ども狂言協会
島原子ども狂言ボランティアスタッフ

国内外で活躍されている一流の講師による直接指導です。

講師の和泉流狂言方・野村万禄さんは国内外で大活躍されている、日本を代表する一流の狂言師です。5月から月に一回直接指導していただき島原城新能の舞台をめざします。一流の先生の迫力のある本格的なお稽古を受けられる素晴らしい機会です。ぜひ、本物の文化にふれて子ども達の感性を磨いてほしいと思います。

<野村万禄先生プロフィール>
1966年 東京に生まれる。故・野村万蔵(芸術院会員・人間国宝)の孫。伯父の初世野村萬(人間国宝)に師事。
1990年 東京芸術大学音楽学部邦楽科能楽専攻卒業。
2000年 二世野村万禄襲名。野村万蔵家別家を興す。
現在 福岡在住。国内外において数多くの狂言公演を行う傍ら、九州各地に稽古場を開設。
一般にも広く門戸を開き狂言の普及と発展に努めている。またクラシックアンサンブルやピアノとの共演など幅広く活躍中。

社団法人能楽協会九州三役会所属
重要無形文化財総合指定保持者
平成22年度福岡県文化賞【奨励部門】受賞



日時 ※各回の集合時間は随時連絡します	講師	指導内容	会場
第1回 5月20日(水) 午後6時半～	野村 万禄さん	開講式・狂言の鑑賞・狂言のお話・小謡のお稽古	島原文化会館中ホール
第2回 6月10日(水) 午後7時～	自主稽古	親子着付け教室・親子で着物の着付けを学びます	森岳公民館
第3回 6月17日(水) 午後7時～	野村 万禄さん	小謡や舞台での演目のお稽古	島原文化会館中ホール
第4回 7月10日(金) 午後6時半～	松尾 卓次さん	松平文庫に残る能や狂言の資料の見学 島原の歴史と島原に伝わる古典芸能のお話	島原図書館
第5回 7月22日(水) 午後7時～	野村 万禄さん	小謡や舞台での演目のお稽古	島原文化会館大ホール
第6回 8月26日(水) 午後7時～	野村 万禄さん	小謡や舞台での演目のお稽古	島原文化会館大ホール
第7回 9月9日(水) 午後7時～	自主稽古	小謡や舞台での演目のお稽古	島原文化会館大ホール
第8回 9月23日(水) 午後7時～	野村 万禄さん	小謡や舞台での演目のお稽古	島原文化会館大ホール
第9回 9月30日(水) 午後7時～	自主稽古	小謡や舞台での所作のお稽古	島原文化会館大ホール
第10回 10月9日(金) 午後6時半～(予定)	野村 万禄さん	申し合わせ(前日の舞台稽古)	島原城新能舞台
第11回 10月22日(木) 午後7時～	古田 知英さん	小鼓についてのお話とお稽古 小謡のお稽古・能舞台の見学	島原文化会館 柴田邸能舞台

檜舞台発表 10月10日(土) 時間未定 島原城新能 会場：島原城新能舞台 ※この他にも舞台発表があります





令和2年6月 3日

担当課	長崎県文化振興課
内線	2764
直通電話	095-895-2764
担当者	森・山浦

「第35回長崎県地域文化章」受章者の決定及び授与式の開催について

地域文化の向上と発展に貢献している方々を顕彰する「第35回長崎県地域文化章」の受章者が次のとおり決定しましたのでお知らせします。

また、下記により「授与式」を実施いたしますので、併せてお知らせします。

記

1 受章者（別紙1のとおり）

- ①肥前島原子ども狂言
- ②上村 紀元
- ③NPO 法人 波佐見講堂ファンクラブ

2 授与式

日時 令和2年6月12日（金）15時00分～15時30分

出席者 受章者、長崎県知事、文化観光国際部長、文化振興課長

場所 長崎県庁 秘書課応接室1

その他 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、授与式は小規模開催とします。

※「長崎県地域文化章」の概要は別紙2のとおりです。

3 受章者への取材について

各受章者へ取材をご希望の場合は、各受章者にご連絡のうえ、日程を調整していただきますようお願いいたします。

第 3 5 回長崎県地域文化章受章者功績等概要

○肥前島原子ども狂言（島原市）

- ・活動歴 16年
- ・功績事項 地域文化の創造及び伝承
- ・功績内容

子どもたちへ島原地域に根付いた武家文化の象徴である能楽を伝えるため、継承活動を牽引するとともに、島原城で開催されている島原城薪能とも連動し、人材育成の取組も行っている。島原子ども狂言協力会を核に、地元の能愛好家が自宅の能舞台を提供するなど、地域全体で伝統文化の保存に尽力している点が評価された。

○上村 紀元（諫早市）

- ・活動歴 20年
- ・功績事項 地域文化の創造及び振興
- ・功績内容

諫早出身の詩人・伊東静雄の業績を後世に伝えるため、「伊東静雄顕彰委員会」の役員を長年歴任し、伊東静雄を偲ぶ「菜の花忌」では中高生の参加を促すなど次世代への継承活動を牽引している。また「伊東静雄賞」では毎年約 1000 件の応募があるなど全国規模のコンクールとして定着しており、伊東静雄の功績をたたえ、後世に伝えていくための活動を長年牽引している点が評価された。

○NPO法人 波佐見講堂ファンクラブ（波佐見町）

- ・活動歴 23年
- ・功績事項 地域文化の創造及び振興
- ・功績内容

波佐見講堂の保存活動を牽引し、平成 22 年の国登録有形文化財登録に貢献した。また、文化財の保存と活用という時代の中で、保存のみならず、年間を通してコンサートをはじめ多彩なイベントを開催しており、文化財を活用した文化芸術活動で地域の活性化に尽力しており、他の文化資源活用の模範となる取組である点が評価された。

※活動歴は、令和 2 年 5 月現在

「長崎県地域文化章の概要」

1 趣 旨

文化に香る心豊かな郷土を創るため、県内各地において地道な文化活動を続け、地域文化の向上と発展に貢献している個人及び団体に対し、地域文化章を贈り、その活動と業績を顕彰する。

2 対象となる活動及び業績

- (1) 伝統文化の継承及び保存
- (2) 地域文化の創造及び振興
- (3) 芸術文化の振興
- (4) 国際文化交流の推進

3 選考方法について

市町等からの被推薦者を対象として、地域における文化活動の実践者など、文化芸術関係の各分野からの選考委員（7名）で構成する選考会議において候補者を選考し知事が決定。

4 地域文化章の内容

- (1) 文化章 故北村西望氏作 ブロンズレリーフ「笛の天女」の楯
- (2) 副 賞 金一封

5 その他

平成31年度（第34回）までの受章者数132（個人26 団体106）